

**「仙台市環境行動計画」
令和7年度環境監査報告書**

令和8年3月3日

環境監査委員会

1. 監査の概要

(1) 実施日

令和7年11月28日、12月2日

(2) 監査対象部局

環境管理事務局（環境局環境企画課）及び下記6部署

- ・ 経済局（経済企画課）
- ・ 文化観光局（スポーツ振興課・ゼビオアリーナ仙台）
- ・ 消防局（管理課）
- ・ 若林区役所（総務課）
- ・ ガス局（経営企画課、港工場）

(3) 監査委員（五十音順：○印は監査委員長）

- ・ 加藤 保世明 : みちのく環境管理規格認証機構 評価員・審査員
- ・ 小林 幸司 : せんだい E-Action 実行委員会 委員長
- 中田 俊彦 : 東北大学大学院工学研究科 教授

2. 総合所見

平成18年度から運用開始された「新・仙台市環境行動計画」は、脱炭素社会の構築やプラスチック資源循環の推進等の新たな環境課題に率先して取り組むため、令和3年3月に「仙台市環境行動計画」に改定され、令和6年3月には削減目標を引き上げるなど、継続的に見直しが行われてきた。令和7年度は計画の中間評価の年でもあり、二酸化炭素排出量と一般廃棄物排出量の削減についてより詳しい原因分析を行い、今後更なる削減に向けた取り組みが必要になる。

環境行動においては、根拠に基づいた目標設定と、その結果における原因の分析が重要である。原因分析においては、外的な要因だけではなく、各課の取り組みの2つの観点を考慮した客観的な分析が重要である。今後の環境監査においては、通常業務の中の環境負荷低減行動はもちろん、省エネ設備の導入など、カーボンニュートラルの実現に向けた観点も重要であると考えられる。本計画の取り組みにおいては、脱炭素社会の実現に向けた動きなど、近年の環境施策を取り巻く動向等を踏まえるとともに、引き続き、市民や事業者の範となるよう、市が率先して環境負荷低減に取り組むことを期待する。

(1) 評価できる点

- ・ 職員の環境問題への意識が高く、環境行動に強い意欲をもって取り組んでいる。
- ・ 消防やスポーツ等様々な分野において、その部署や施設の特性を考慮しながら環境負荷低減に取り組んでいる。

(2) 改善及び検討を要する点

独自目標における「環境に大きな影響を与える活動」が不明確なものが各部署で散見された。目標の達成のために必要な活動の具体的施策設定に影響するため、明確化をする必要がある。

3. 被監査局・区等に係る所見

(1) 経済局（経済企画課）

①評価

[注意]

独自目標における「環境に大きな影響を与える活動」が不明確な部署がある。

②意見

[優良事項]

事務所内のごみ分別の掲示や資源物を仕分けるごみ箱の配置順などが、ナッジ（行動科学）に基づき自然に分別を促すよう良く考えられている。担当者の努力がうかがえ、他部署でもぜひ参考にして欲しい。

[推奨事項]

- ・ 管轄する対象施設等が多く、環境負荷数値の増減が、気候や設備稼働率など外的要因や不可抗力の結果となっている。特定のエネルギーや行動など何かに絞った具体的目標を立て、そこだけでも重点的に実施することで能動的に結果を出し、達成感やモチベーションにつなげることが望ましい。
- ・ 経済局が所管する企業支援、イノベーション創出において、グリーン経営の推奨やRE100の情報提供など、環境行動と連携した施策の展開を期待する。

(2) 文化観光局（スポーツ振興課・ゼビオアリーナ仙台）

①評価

指摘事項等なし

②意見

[優良事項]

プロバスケットボールチーム・仙台 89ERS の試合においては、現在もエコステーションによるごみ分別・減量活動が行われていると思うが、多くの観客が訪れるイベントにおいてはこうした地道な活動の継続が市民への意識づけ・環境教育につながるため、ぜひ今後も継続して欲しい。

[推奨事項]

- ・ 多様な来場者を対象にした、環境行動の啓発や、来場者をモニターとする実践の場として活用することを期待する。
- ・ 大規模施設であるため、利用者の些細な心がけが大きな環境負荷削減につながる。スポ

ーツ等の興行の際、興行主にできるだけ省エネやごみ分別を促すよう徹底して欲しい。

- ・ 開催するイベントにより消費エネルギーや廃棄物量も様々であるため、総量で判断するのは難しい。電力会社選定基準に、可能な範囲で CO2 排出量の少ない電源構成の企業を選定する基準を加えることが望ましい。

(3) 消防局（管理課）

①評価

[注意]

独自目標における「環境に大きな影響を与える活動」が不明確な部署がある。

②意見

[優良事項]

- ・ 独自目標における「目標」については、各部署が明確な目標を立て、ほぼ達成できている。管理部署・担当がしっかりと現状を把握し管理できている印象が強く、参考にすべき優良部署である。
- ・ 実績管理と原因分析が適切に実施されている。
- ・ 火災の予防、市民の啓蒙に取り組むことで「仙台防災枠組」の優先行動でもある防災・減災への投資を進め、レジリエンス（強靱性）を高めることを実践している。

[推奨事項]

危機管理上、節約できないことも多く、出勤を減らすことが一番の省エネとの話があった。気象災害等が増える中で防災は環境と密接に関係した問題であり、一般市民に向けての防災講座等を増やし防災意識を高める活動により注力して欲しい。

(4) 若林区役所（総務課）

①評価

[注意]

独自目標における「環境に大きな影響を与える活動」が不明確な部署がある。

②意見

[優良事項]

- ・ 実績管理と原因分析が適切に実施されている。
- ・ アルミ缶、スチール缶、ペットボトルを分別して再資源化に取り組んでおり、素晴らしい活動である。

[推奨事項]

- ・ 独自目標における「目標」については、各部署の目標がかなり具体的に記述されており意識の高さは伺えるが、「～を徹底する」「～を推進する」といった目標設定が多く、達成度が分かりにくい。何らかの数値を入れるなど客観的に評価できる目標としたほうが職員の達成感にもつながるため、望ましい。

(5) ガス局（経営企画課）

①評価

独自目標における「環境に大きな影響を与える活動」が不明確な部署がある。

②意見

[優良事項]

- ・ 独自目標における「目標」については、都市ガスに比べCO₂排出量の多い重油等の燃料を使用する事業者に対し、都市ガスへの燃料転換を推進する数値目標等、有意義な目標設定をしている部署があった。
- ・ アルミ缶、スチール缶、ペットボトルを分別して再資源化に取り組んでおり、素晴らしい活動である。

[推奨事項]

- ・ ガス事業に伴う事務事業の環境監査に加えて、ガス事業自体を対象とした脱炭素の環境行動についても議論を深めることを期待する。
- ・ 環境教育の重要性はますます増しているため、エコクッキング教室による普及啓発は継続して注力して欲しい。またその際にはエコジョーズ等の省エネ型機器の普及PRやガス事業の環境への取り組み等も伝えられると望ましい。
- ・ 庁内にかなり暗い箇所が散見されたが、省エネだけではなく、労働環境や安全の観点からもバランスを考えて節電することが望ましい。

(6) ガス局（港工場）

①評価

指摘事項等なし

②意見

[優良事項]

- ・ 実績管理と原因分析が適切に実施されている。

[推奨事項]

- ・ オフィスのごみ分別をかなり細かく設定しており指示の掲示もできているが、情報量が多く丁寧に読み込んで理解する必要がある。高い分別意識を共有するために、可能であれば年に1~2回全職員を対象とした分別研修ができると良い。
- ・ 環境負荷の大きいLNGの製造工程での省エネは難しく、何よりも安全管理を最優先しなければいけない場所であるが、電力会社の選定に際し可能な範囲でCO₂排出の少ない電源構成となっている電力会社を選ぶなど、価格オンリーではない選定基準を作ることが望ましい。